

熱中症の症状で

高校生14人搬送

◇熱中症防止 水分補給と、適正な塩分補給◇

2018年07月19日 18時25分

19日午後2時20分ごろ、北斗市の道立高校の職員から、「体育大会で生徒が熱中症の症状を訴えている」と消防に通報がありました。

消防によりますと、グラウンドにいた1年生から3年生の男女14人が手足のしびれや過呼吸など熱中症の症状を訴え、病院に運ばれ手当てを受けましたが、全員症状は軽いということです。

高校によりますと、19日は体育大会が開かれ、午後1時半ごろから全校生徒が参加して長なわとびが行われていましたが体育大会は中止されました。

气象台によりますと、北斗市の日中の最高気温は25度とほぼ平年並みでした。

【道教委が熱中症対策を通知】

学校の熱中症対策については北海道教育委員会が19日、道内すべての公立学校に対策を徹底するよう求める通知を出しました。

17日に愛知県で校外学習に参加した小学生が熱中症で死亡したことを受けた対応です。

通知では、学校が気温や湿度の情報を確認して活動を行うことや、校外活動を行う際は適切な指導をするよう求めています。

札幌管区气象台が発表した3か月予報によりますと、道内の今月の平均気温は平年より高く、来月からも平年並みか平年より高くなる見込みです

气象台は気温が高くなった場合は熱中症に注意するよう呼びかけています。